



自律の心を育てましょう



◆家庭のゴミを駅やコンビニのゴミ箱に捨てている人がいるという話を耳にします。なぜ捨てるのかを聞くと、「どうせゴミになるのだからどこで捨てても一緒」「家に置いておくと邪魔になるから」といった答えが返ってくるそうです。

みなさんは、そんなことはしませんよね。そこで質問です。

「あなたが、家庭のゴミを駅やコンビニのゴミ箱に捨てない理由は何でしょう。」

- ① たまたま家にゴミがなかったから。
- ② 駅員や店の人に見つかりと叱られるから。
- ③ 捨てているところを誰かに見られると格好悪いし恥ずかしいから。
- ④ 自分勝手な考えで人に迷惑をかけるのはよくないことだから。



捨てないということはどれも同じですが、心の中に目を向けるとこうした違いが出てきます。

①は、**道徳性のない心**と言えるでしょう。

②は、**他律の心**です。善悪の判断が他者にあります。

③は、**社会律と言われる心**です。周りからどう見られているか社会の視線が気になる心です。

④は、だれが見ていようとも見ていなくても、だれがしていようともしていなくても、自らの基準でしっかり判断する**自律の心**です。

人は、成長に伴って、道徳性のない心から、他律、社会律を経て、やがて自律の心に至ります。低学年から高学年へと心身共に成長する小学校時代にこそ、子どもにこの自律の心の基礎を養っていかなければなりません。そのためにも、家庭での日頃のちょっとした言葉がけが大切になるそうです。

「そんなことをしたら先生（お父さん・おまわりさんなど）に叱られるよ。」

「みんなが見ているから恥ずかしいでしょ。」

「あなただけが使っているものではないでしょ。」

3つとも子どものしたことに対して注意をしているのですが、かける言葉一つで子どもに育つ心が変わってきます。もうお分かりですよ。さて、今日からみなさんは家庭でどんな言葉をかけることができるでしょうか？ 将来、自立した一人の人間として生きていくためにも、今のこの時期に自律の心をしっかり育てておきたいものです。

(11 月 30 日 (日) 第 2 回家庭教育講演会 畿央大学島教授「家庭教育は教育の原点」から一部抜粋)

◆もう一つ。有名な道歌（道徳的な教えをわかりやすく詠み込んだ和歌）を紹介します。子育ての参考になれば幸いです。

「やって見せ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」

「話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば 人は育たず」

「やっている 姿を感謝で 見守って 信頼せねば 人は実らず」

